

議員研修参加報告

土浦市議会議員 矢口 勝雄

於 全国市町村国際文化研修所

◇ 全国市町村国際文化研修所 主催

「防災と議員の役割」 ～対話と発信力の向上～

◇ 受講日：令和6年10月31日～11月1日

◇ 講師：

- ・ 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部コミュニティデザイン学科

教授 鍵屋 一 氏

- ・ 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 地域強靱化研究センター

特命准教授 磯打 千雅子 氏

- ・ 防災企業連合関西そなえ隊 幹事 湯井 恵美子 氏

- ・ 石川県珠洲市議会 副議長 川端 孝 氏

JIAMにて開催された市町村議会議員研修「防災と議員の役割」を受講し、改めて防災に対する意識を高め、議員としての役割について深く考える貴重な2日間となりました。

特に印象に残ったのは、地区防災計画に関する講義です。これまで、計画策定は一定の成果として捉えがちでしたが、研修を通じて、計画は作成して終わりではなく、常に実効性を検証し、改善を重ねていく必要があることを痛感しました。災害はいつ発生するか予測できません。そのため、訓練を定期的に実施し、地域住民の理解と協力を得ながら、計画を磨き上げていくことが不可欠です。

また、「平時の備え」の重要性を改めて認識しました。災害発生時、議員は地域住民の安全確保と迅速な復旧活動に貢献しなければなりません。そのためには、平時から地域の実情を把握し、関係機関との連携を密にしておく必要があります。研修で学んだように、災害時に備えることで、発災時の動きは大きく変わります。平時の備えを怠らず、常にアンテナを張り、地域住民の声を聴き、的確な情報収集と迅速な情報提供に努めることが、議員としての責務であると強く感じました。

さらに、現場経験豊富な先生方の講義は、非常に示唆に富むものでした。机上の空論ではなく、実際の経験に基づいた話は、私たちの心に深く響きました。本当に必要な施策、議員として果たすべき役割、そして地域住民との信頼関係の重要性など、多くのことを学びました。

今回の研修で得た知識と経験を、今後の議員活動に最大限に活かしていきたいと考えています。具体的には、以下の3点に取り組んでいきます。

1. 地区防災計画の見直しと訓練の実施：地域住民と協力し、実効性の高い計画策定と訓練実施に取り組めます。
2. 平時の備えの強化：地域の実情把握と関係機関との連携を密にし、災害に強い地域づくりを目指します。
3. 情報収集と発信の強化：常にアンテナを張り、的確な情報収集と迅速な情報発信に努めます。

以下当日のノートをこちらに記す

